

授業にピタッ！とデジタル教科書

こんな実践
あんな実践

歴史

① 古代の学習でのデジタル教科書活用例

～資料を基に考えさせる活動の充実を目ざして～

中野区立中野東中学校 主任教諭 中瀆 佑太(なかはま ゆうた)

◆単元名：第2章 原始・古代の日本と世界 4節 貴族社会の発展

「⑫木簡と計帳は語る」(教科書 pp.44-45)

◆本時の目標：

班田収授の法や租・調・庸のしくみについて理解するとともに、律令制の進展が、貴族や豪族と農民の暮らしをどのように変化させ、それらがどのように結びついているか考察する。

《本時の展開例》

	学習活動	留意点	デジタル教科書・教材
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 4節の問いを提示する。 【問い】大陸から伝わった文化や制度は、日本の社会にどのような変化をもたらしたのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①権力を伸ばすのはだれか、②文化はどう変化するか、の2点について、これまでの学習内容や、小学校の学習事項を根拠として予想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの教科書のページをスクリーンに提示する。
展開 (35分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本時の問い：律令制のもとで、貴族や農民の生活はどのように変化していったのだろうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 平城京の成立について学習する。 律令制の進展により、①貴族や豪族、②農民の生活はどのように変化したか、3～4人のグループで①、②を分担して調べる。 それぞれの立場から調べた内容を発表し、学習内容を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の年代を確認させる。 それぞれの暮らしの特徴と、その背景となる歴史的事象を、分担してまとめさせる。教科書、資料集のどの資料を根拠としたか明記させる。 貴族の生活が農民の税により支えられたこと、農民の重い負担が逃亡につながり、墾田永年私財法制定の背景となったことなど、歴史的事象の結びつきを確認させる。 数名に、どのような資料を根拠に考察したか発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> p.44の見出しを拡大して提示する。 NHK for School 動画リンクから、「平城京」の動画を視聴する。 p.44 資料①「平城京」を、長安城、藤原京と並置して提示する。 p.45 資料⑨、⑩「貴族と庶民の食事の例」や p.45 資料⑦「計帳に記された内容」等を提示する。 資料を拡大して提示し、ペン機能で重要な箇所を強調する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習をまとめ、節の問いに対する振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭で立てた予想と異なっていた点や、新たに学習した点に着目して振り返りシートに記入させる。 	

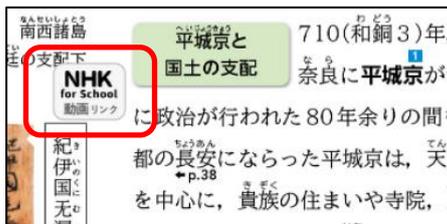
◆指導にあたって：

○学習内容が多い歴史的分野において、現行学習指導要領で求められる「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動」と、その土台となる基礎的な知識の習得を両立するためには、1単位時間の中で、教えること、考えさせることのメリハリをつけることが重要である。この単元の前半では、動画コンテンツの活用や視覚資料の提示を通して、必要な知識の習得を効率よく行う。それによって、節の学習を見通したり振り返ったりする活動や、資料を根拠として貴族や豪族・庶民の生活の変化について考察する活動など、「考えさせる」時間を確保したい。

○社会科の資質・能力全体に関わるとされる「社会的な見方・考え方」を働かせるためにも、デジタル教科書の強みを生かすことが有効であると考え。デジタル教科書を活用すれば、生徒に注目させたい資料を自在にスクリーンに投影できる。この授業では、どの年代を学習しているかが一目でわかる「見出し」のほか、奈良時代の計帳の内容（資料[7]）、貴族と庶民の食事の例（資料[9]、[10]）など、律令制の進展による貴族や庶民の生活の様子に関する資料を提示する。社会的事象の歴史的な見方・考え方の最初のステップである「時期」「推移」について、資料を基に考察させたい。

◆デジタル教科書活用のねらい：

○平城京の成り立ちについて理解し、奈良時代の都の様子への関心を高めるために、NHK for School の動画や、p.44 資料[1]「平城京」の資料を活用する。NHK for School の動画には、デジタル教科書上のアイコンから、直接アクセスすることができる。また、p.44 資料[1]は、拡大して「関連資料」→「並置」のアイコンを選択すると、藤原京や唐の長安城の図を平城京の様子と並べて示すことができる。これにより、当時の都が中国にならって建設されたことや、そのスケールの大きさについての理解を助けることが期待される。

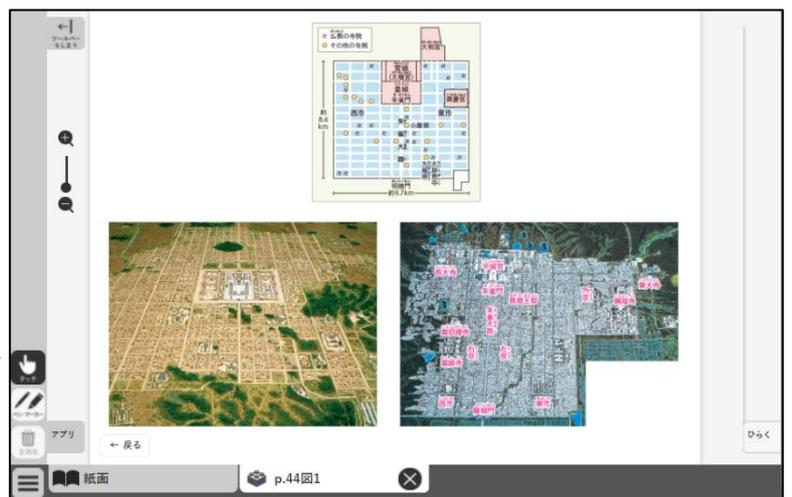


(上)デジタル教科書 p.44

NHK for School の動画リンクのアイコン

(右)長安城、藤原京、平城京を並置した画面

資料1「平城京」をクリック
→右下「関連資料」ボタン
→「並置」ボタン



◆授業の改善案・さらに活用するポイント：

○各本時ページの「語句まとめ」の機能は、「学習のまとめと表現」の学習時に使って学習内容を全体で振り返らせたり、次の時間の最初に使って復習させたりすることで、知識の習得を促すことができる。内容を提示して語句を答えさせることも、語句を提示して内容を説明させることもできるため、生徒の実態や発達段階に応じて工夫して活用したい。